

苫小牧市総合計画第5次基本計画見直しに係る市民説明会 議事録要旨

日 時		場 所	参加人数
平成24年8月21日（火）	19:00～20:05	市民活動センター4階講習室	12名
平成24年8月22日（水）	19:00～20:10	のぞみコミュニティセンター講習室	8名
平成24年8月23日（木）	19:00～20:05	沼ノ端コミュニティセンター会議室	18名
延べ参加人数			38名

次 第

- 1 開会挨拶 （略）
- 2 概要説明 （略）
- 3 質疑等 下記のとおり

ページ	施策	質疑等	回答要旨
3	行政運営	民間委託について、バス以外で、給食など他にはあるのか。それによって、どれだけ経費が減り、職員の数が減るのか。	民間委託については苫小牧市行政改革プランにおいて市営住宅管理人業務、西町下水処理センター管理運転業務、道路パトロール業務、部門システム管理運用業務について検討を進めております。また、既に一部民間委託を実施している廃プラスチック資源収集業務、上下水道検針業務（異常水量調査、検針不能調査等）については、委託拡大を図っております。 民間委託による効果ですが、例えば、上下水道検針業務については委託拡大により正規職員を2名削減し、790万円程の経費削減を図っております。また、広報とまこまい発行業務の一部民間委託実施により正規職員を2名削減しております。市営バスの民間移譲や学校給食共同調理場の調理業務の民間委託による効果については、その導入が平成24年度からですので、今後、行政改革プランの進捗状況を公表する段階でお示ししてまいりたいと考えております。
17	障がい者福祉	地方公共団体における障がい者の法定雇用率が法改正により2.0%から2.2～2.3%に変わる。先日の苫小牧民報の記事では、苫小牧市は2.0%の目標はクリアしたと書いてあった。職員の対象人数を何人として算出したのか。わかりやすい表記をしてほしい。	6月1日現在において、職員総数1,616人から、医師、看護師及び消防士など集計から除外される職種を除いた1,012人が対象人数となります。 この内、障がいのある職員が16人（重度の障害を抱える職員7人を含む）いるため、 $(7 \times 2 + 9) / 1,012 \times 100 = 2.27\%$ となります。
21	保健・医療	「健康づくりの拠点」について、スポーツセンターを活用することはできないか。	健康づくりの基本要素である、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・ストレス、喫煙・飲酒、歯・口腔それぞれについて、市民の皆様に取り組んでいただきたいと考えております。 その活動の場である沼ノ端スポーツセンターなどの健康増進施設、各種教室やサークル活動が行われるコミュニティセンターなど、いずれも健康づくりの拠点であると認識しております。
27	防災	「防災」に関して、避難道路として、鉄北の苫小牧駅から沼ノ端駅の道路が、所々途切れている。防災の観点からも道路整備について要望する。	基本計画の「道路」の中で、道路整備や災害対応についても考えている旨記載しております。
27	防災	「防災」について、災害ボランティアセンターの設置及び、マニュアル等を作成（平成23年9月）した経緯があるが、その部分が一切触れられていない。主要施策の1防災体制の整備・充実については、上記のような視点も重要であり、項目として記載すべきではないか。	担当課に対して、検討するように依頼しております。

苫小牧市総合計画第5次基本計画見直しに係る市民説明会 議事録要旨

ページ	施策	質疑等	回答要旨
31	消防	「消防」について、「消防隊員は泳げないが、港は大丈夫か」	海上における捜索救助に関しては、1979年の海上における捜索及び救助に関する国際条約（SAR条約）に準拠して実施しており、苫小牧市の沿岸部での水難事故では、地域の警察、海保、消防等が協力して救助活動を行っております。 苫小牧市消防本部では、水難救助の要請を受けた場合、消防隊、特別救助隊等を出動させ、警察、海保と連携し要救助者の救助活動を行っております。全ての消防隊員が水泳に熟練しているわけではありませんが、資機材及び特別救助隊等を最大限活用し、プール、海上等での実地訓練を行うなど隊員の安全を確保し、救助活動を行っております。 【水難救助用の資機材等】消防隊～ライフジャケット、浮環、ロープ等・特別救助隊～ドライスーツ・スノーケル・マスク・フィン等・その他～ゴムボート、ヘリコプター（北海道防災航空隊）
39	義務教育	「義務教育」に関して、家庭教育、例えば、保健師による相談や育児教室などは実施しているのか。就学するとそのような体制はあると思うが、就学前の体制については、どのようになっているのか。	就学前のお子様を持つ家庭に対しての支援体制につきましては、保健師等による個別相談、各種教室の開催、家庭訪問等を実施しております。 具体的には、保健師が中心となり、関係機関と連携をとりながら、生後4か月までの赤ちゃんの全戸訪問をはじめとして、乳幼児健康診査、健診事後教室、赤ちゃん教室、子育て育児相談、訪問・電話等での継続的な指導・支援等を行っております。
39	義務教育	新設する小学校に太陽光パネルを設置する予定はあるのか。	平成25年4月に開校する拓進小学校では、太陽光発電システムを設置し、校舎で使用する電力の一部として活用する予定であります。
41	高校・大学・各種教育機関	「高校・大学・各種教育機関」について、この地区は、人口が多いわりに高校が1つもない。1つくらいあっても良いのではないのか。	即答はできませんが、「地域社会」にも記載があるように、人口が減少している地域もありますので、高校については、「市立」ではない限りなかなか難しいと思いますが、ご意見として伺いして、担当課と相談いたします。
45	青少年教育	計画に沼ノ端の児童センター建設についての記載がない。線路の北側に小学校が3校もあるのに、児童館が1つもないのは、バランスとしておかしいのではないのか。	第5次基本計画期間内に拓勇地区児童センター建設を想定しております。評価指標の児童センター数の平成29年度目標の7館に含まれておりますが、今後、計画原案の主な事業に建設計画を加える予定であります。
45	青少年教育	「青少年教育」について、評価指標の中の「児童館・児童センター数」について、平成29年度目標7館というのは、矛盾があるのではないのか。	担当課へ確認しましたところ、平成19年度の6館には、錦岡を含んでおらず、平成24年度は、錦岡を入れて7館とし、平成29年度の目標については、弥生と大成を廃止して、平成26年度に新大成を1館完成させ、平成29年度に拓勇児童センターを完成させる予定のため、目標数値を7館としたとのことでした。
47	市民文化	図書館の指定管理者導入について、導入が前提となっているのか？	前提ではなく、検討段階ということになります。

苫小牧市総合計画第5次基本計画見直しに係る市民説明会 議事録要旨

ページ	施策	質疑等	回答要旨
51	空港	「空港」の中の「植苗・美沢地区土地利用計画の事業化促進」にある、民有林を活用した事業展開の進捗状況について、1期工事のことを指しているのか。	ご指摘のとおり、1期工事のことを指しております。
55	工業	CCSや自然エネルギーに関連して、住宅の分野で、スマートハウス、スマートコミュニティ、コンパクトシティ、スマートグリッドなどの導入についての記載がないが、この先5年間が勝負になると思う。先日の苫小牧民報で、大成町のスマートコミュニティについての話題を見た。市としては、道の方針を待つということなのか。全国では、横浜市、豊田市、けいはんな学園都市、北九州市などの先進都市の例がある。道内においても千歳・恵庭・苫小牧・厚真が計画にのっている。当市の基本構想が若干、遅れているのではないのか。	横浜市のような政令指定都市と、本市のような一般市とで、スマートコミュニティなどの関わり方について、違いがあるとは思いますが、今後、どのような形で関わっていけるのか、また、どの程度取り入れていけるのかを含めて、ご意見を担当課に伝えさせていただきます。
71	中心市街地活性化	「中心市街地活性化」について、とまチョップについての記載はないのか。主な事業についても、より具体的に記載した方が良いのではないのか。	主な事業に掲載することとします。
77	ごみとリサイクル	「ごみとリサイクル」に関して、「共同住宅ごみ排出マナー改善対策協議会」や「ステーションパトロール隊」、「不法投棄110番」、「夜間・休日パトロール」について、体制は、市で組むのか。町内会へ丸投げなのか。「高齢者見守り事業」や「高齢者支援事業」についても同様のなのか。	市の職員だけでは難しいと考えており、町内会の皆さんと連携しながら実施していくものもあります。
93	道路	昨年のまちかどミーティングでも要望したが、いまだに道路の舗装がされていない。道路の舗装計画などは、町内会と打合せした上で決めてほしい。	地域の要望について、まちかどミーティングなどで市に伝えて欲しい旨説明するとともに、後日、担当課より直接説明させていただきました。
93	道路	「道路」について、「命をつなぐ道」とあるが、計画停電時の信号等の停電対策などの対応は。	道路の信号機や一時停止などの交通規制については、苫小牧警察署が所管しております。苫小牧警察署によりますと、計画停電で信号が停止した場合は、主要な交差点については、警察官が手信号で対応し、他の交差点については数が多く、警察官を配置することはできないため、信号機がない交差点と同様に交通ルールを順守し、安全を確認した上で通行していただきたいとのことです。なお、市といたしましては、7月に各町内会長宛てに、交通安全や街路灯などを含めた防犯上の観点から、留意していただくようお願いの文章を送付したところでございます。
95	公共交通	うぐいす団地から、のぞみコミセンまでの、バス路線が不便であり、何とかならないものか。	道南バスに移譲後の路線については、元の市営バスの路線を引き継いでおり、基本計画の中では、「公共交通」の中に、コミュニティバスについて記載しており、今後、樽前地区や植苗・美沢地区以外にも、広く検討していかなければならないと考えております。

苫小牧市総合計画第5次基本計画見直しに係る市民説明会 議事録要旨

ページ	施策	質疑等	回答要旨
95	公共交通	駅前開発が遅れていると思う。もう少し、千歳より苫小牧へのJRが便利になるようにしてほしい。	「中心市街地の活性化」については、CAPに基づく、苫小牧と沼ノ端の駅周辺整備について考えているところです。また、「公共交通」にJRについての記載はありませんが、JRとのつながりについては、今後、考えていかなければなりませんし、機会がある度にJRには、計画とは別に、要望してまいりたいと考えております。
95	公共交通	JRの南進については、この計画には含まれていないのか	この計画には含まれていませんが、これとは別に、市の重点要望の中では、今後もJRに対しては、要望活動を続けてまいりたいと考えております。
97	地域社会	老人クラブの会館使用料（錦岡総合福祉会館）について、免除の方法はないのか。せめて、コミセンだけでも、使用料の免除があれば良いと思う。	総合福祉会館の使用料につきましては、町内会活動のために使用する場合は無料、町内会員以外は割高となっているなど、それぞれの町内会毎に規約等で定められております。なお、コミュニティセンターの使用料免除の対象は、以下のとおりとしております。 (1) 苫小牧市が不特定多数の地域住民を対象にした事業を実施する場合 (2) 町内会館を持たない町内会が総会、役員会、敬老会を行う場合 (3) 町内会連合会が総会、役員会等を行う場合 (4) その他市長が公益上特に必要と認めた場合